

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：横浜市北上飯田保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：宇佐美 明子	定員（利用人数）：77名（76名）	
所在地：横浜市泉区上飯田町3050-3		
TEL：045-803-7889	ホームページ：—	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1976年12月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市		
職員数	常勤職員：13名	非常勤職員：20名
専門職員	保育士：27名	栄養士：1名
		調理員：1名
施設・設備 の概要	(居室数) 乳児室： 2室	(設備等) 調理室： 1室
	幼児室： 3室	調乳室： 1室
	一時保育室：1室	トイレ： 3か所
	事務室： 1室	鉄筋コンクリート造り2階建て： 582.71㎡
	医務室： 1室	
職員休憩室：1室	敷地面積： 1.167.75㎡	

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権を尊重し仲間と育ち合う。 <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって心地よい環境を整え、健やかな育ちを支えます。 ・ありのままの姿を受け入れ、一人一人に寄り添い、意欲と自信を育てます。 ・子どもの主体性を大切にしながら、発達に応じた遊びや活動を工夫します。 ・保護者や地域の方の思いに共感し、楽しい子育てを支援します。 <p>【保育姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの育ちや背景を尊重し、安心・安定して園生活を送れるようにしていきます。 ・子どもたちが発する様々なサインを受け止められる感性を持ち、適切に援助します。 ・自ら発見したり、生命の尊さを感じられるよう、様々な体験やいろいろな人と関わる機会を設けます。 ・生活習慣の違いや異なる文化を理解して保護者に寄り添います。そして、様々な手段を工夫して、コミュニケーションを図り、子育ての喜びを共有します。
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>【立地および施設の概要】</p> <p>横浜市北上飯田保育園は、相模鉄道いずみ野線いずみ野駅からバスで10分、大和市との市境に近い台村停留所近くの住宅地に位置し、多くの園児が住む県営いちょう団地に</p>

隣接しています。近くには境川が流れ、桜やいちょうの木々が多く自然豊かで、多くの公園もあります。横浜市立の保育園で、昭和51年に開園し、園舎は鉄筋コンクリート造2階建て、0～5歳児76名（定員77名）の園児が在籍しています。

【園の特徴】

ベトナム、中国、ラオス、カンボジア、ブラジルなど様々な国にルーツを持つ子どもが約8割を占める保育園で、保育理念や保育方針、保育姿勢にあるように、子どもの人権の尊重やお互いの多様性を認め合える保育を大切にしています。

多文化共生の保育や保育の質の向上に積極的に取り組むとともに、幼児クラスのリズム遊びなど子どもの体づくりにも計画的に取り組んでいます。

また、園庭開放や交流保育、育児相談、育児講座、泉区子育て支援拠点すきっぷへの出前保育、園での子育てサロンなど、地域に対する支援事業を幅広く実施しています。

なお、今年度はコロナ禍の影響を受け、例年行っている保護者による保育士体験時の給食の試食や中高生の体験学習の受け入れなどは行えていません。また、高齢者グループとの交流は、子どもは訪問せずに各々が作ったプレゼントを大人の手で交換する、幼児クラスのお楽しみ会は年長児のみで行うなど、工夫して実施しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年9月1日（契約日）～ 2021年3月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2015年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 多文化共生の保育における取り組みの工夫

朝夕の会や行事では8カ国語で挨拶を行い、それらの挨拶の言葉や子どもたちが作った国旗をクラスに掲示したり、宗教上の理由からの除去食にも対応するなど、子どもたちがお互いの多様性を認め合える保育を行っています。

職員は、園内研修を行い、正しく・短く・はっきりした、分かりやすい日本語を繰り返し発信し、子どもが正しい日本語が習得できるように努めるとともに、図や写真を多く取り入れて視覚に訴えるなど分かりやすい保育に取り組んでいます。

保護者に対しても、職員が母国語で挨拶をして信頼関係を築くよう努めています。また、大切なお知らせはベトナム語など3か国語とルビ付き日本語版で配付したり、園だよりなどではイラストや写真を交えた資料、懇談会では写真を多く使ったスライドを用いて分かりやすく説明するなどしています。入園説明会や懇談会などには通訳が同席し、確実な情報伝達や把握に努めています。また、保護者の日本語習得や日本文化の学習のために、週1回子育てサロンを開催するなど、きめ細やかな対応を行っています。

2. 保育の質の向上に向けた実務に即した園内研修の実施

保育の質の向上を図るために、クラス別の公開保育やフォトカンファレンス、アレルギー除去食のロールプレイ、保護者の母国の背景・文化を学ぶ通訳との研修などの園内研修に積極的に取り組んでいます。

特に、カリキュラム会議で行うフォトカンファレンスでは、保育中の写真を使って、職員各自が子どもの活動や育ちを読み取って意見交換を行い、職員が保育中には気づけなかった子どもの様子や思い、一人では気づけなかった視点に気づき、職員相互の学び合いや意識の向上につなげています。

3. 子どもの体づくりへの計画的な取り組み

近年平坦な場所で転ぶ子どもが多いことから、体幹づくりに力を入れ取り組んでいます。体幹、バランスを育てる活動をどのように実施していくのかを各クラスで考え、園庭で遊んだり散歩に出かけたりするときには、ねらいを持って活動しています。例えば2歳児は、散歩では階段、坂道、でこぼこ道を歩いてバランス感覚を養い姿勢の保持を図り、園庭のぼっくり遊びでは手足の協応、体幹、バランス感覚を養って体づくりをしています。また、リズム遊びは、年間計画で年齢別の目標や期ごとのねらいを設定し、月ごとの歌とリズム運動を決めて週1回実施しています。異年齢交流でも、かけっこ、リレーや技巧台を使った体育あそびを計画して実施しています。

◇改善を求められる点

1. マニュアル、計画書の整備

プライバシー保護については、泉区のコンプライアンス研修資料を活用していますが、規程やマニュアルを整備することが期待されます。また、一部の活動計画（食育年間指導計画や異年齢交流年間計画など）は、計画期間中の実施状況を把握して見直しを行いやすくする書式とすることが望まれます。

今回の評価調査活動に際しては、保育園の申し出により新型コロナウイルス感染防止の観点から、訪問調査に替えて書類調査で実施しました。書類調査に当たり、評価機関からの書類での質問事項及び電話での照会に保育園から回答を得るとともに、評価機関が必要とする書類の写し及び保育施設内の写真の提供を受けました。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

【受審の動機】

第三者評価の5年に一度の受審が義務付けられ、「現在の北上飯田保育園の保育をしっかり振り返り、保育の質の向上に取り組みたい」という思いから職員全員で意思統一を図り、今回神奈川県版での評価受審を決めました。

【第三者評価を受審して】

昨年度から神奈川県版の評価項目と評価基準はどのようになっているかを調べました。今年度になり評価項目については個人で読み込み考えた後に、クラスなどのグループに分かれて、話し合い・検討し自己評価を行いました。その後結果を持ち寄り保育園全体としての考えをまとめました。

コロナ禍における新しい生活様式に沿った保育への取り組みについて、職員間でも悩んでいた部分もあり、この時期に北上飯田保育園として大切にしたいことを、職員全員で話し合い思いを共通にすることができたことは大きな意味がありました。

また、今まで多くの保育施設を評価してきた評価機関に、客観的にそして細部にわたって丁寧に高く評価して頂いたことは、さらなる保育の質の向上に取り組む気持ちにも繋がりました。

【今後に向けて】

今回指摘していただいた個人情報保護へのさらなる取り組みや、一部の活動計画については見直しを行いやすくする様式を整備して、確実に改善していきたいと思えます。そして高く評価していただいた、北上飯田保育園の特徴的な外国にルーツを持つ子どもや家庭など全ての人に対して何が必要かを、これからも職員全体で考えていきます。

最後に第三者評価を受審に際し、お忙しい中アンケートに協力して頂いた保護者の皆様、ご尽力頂いた評価機関の皆様にご心より感謝申し上げます。
大変お世話になりました。

令和3年3月23日 横浜市北上飯田保育園 園長 宇佐美 明子

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり